

別紙 2 - 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 7 月 20 日 ( 18 : 00~19 : 30) 平成 29 年 8 月 28 日 ( 18 : 00~19 : 30)
------------------	-----	--

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、不動、中村み、中塔、吉本、小村、富久、川上
--------------------	------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	15 人	3 人	0 人	21 人

前回の改善計画	利用者からの意思表示が少ない場合は、現場の介護者も送迎時や家族面会時に積極的に家族とも関わり、コミュニケーションを図ることに努める。職員の勤務時間には制限があるため利用者の情報を朝礼等の「口頭」手段も用い共有する。しかし、夜勤専従職員もいる為、引き続き申し送りノートの活用は有効であるため続ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	申し送りノートの共有は、各自が意識して業務に対応できていた。 家族とのコミュニケーションは管理者を中心に対応した職員は気持ちの良い対応を意識できた。 ただ、家族からの電話や口頭での申し送りは出所がわからない情報もあるなど、職員各自の情報についての重要性把握にかけることもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	18	2	0	21
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	16	3	1	21
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	13	3	0	21
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	13	7	0	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員間での申し送りノート、職員間での情報共有の声掛け、個別援助計画の確認。 新規利用者には事前の職員会議で本人像やニーズなどの把握に努めている。 信頼関係を構築する言葉がけ、雰囲気づくり、気配りには配慮できている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 情報量の少なさ、勤務体制が様々あるため、朝礼に参加できない職員は情報共有がもれる事が多い。 目に見える身体情報は共有できるが、内面的なことは直ぐには理解できない。 急な情報、申し送り情報が対応できずに焦る。同じことを何度も訴える利用者に適当な返答をしている事がある。家族とのかかわりが少ない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 家族・介護者の相談はケアマネージャー・管理者を中心に、毎月の職員会議・毎朝の朝礼・申し送りノートで、できるだけ迅速に対応、職員への発信をすすめるが、それでも周知しきれない場合もある。 確認はできても確実な「理解」に至っていない場合もある。 確認したことが理解につながっている確認方法を検討していかなければならない。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 20 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )  
平成 29 年 8 月 28 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、不動、中村み、中塔、吉本、小村、富久、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	1 1 人	7 人	2 人	2 1 人

前回の改善計画	職員会議や朝礼で、本人の目標を定期的に確認していく手段を確保する。(初期支援時のみの確認では忘れてしまう。) 本人の目標を ADL 表に記入していく。 ※ADL 表…利用開始時に本人の ADL をケアマネージャーがまとめたもの。食事、排泄、入浴等の形態が一目でわかるように作成している。
前回の改善計画に対する取組み結果	概ねの職員が利用開始前の情報を意識するようになった。 本人希望の「～したい」については迅速に職員感で情報共有できたが、家族からの「～してほしい」については本人のゴールに沿った物であるかの振り返りも薄いように思う。疑問を抱えながらの個別対応もあったのではないかと。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	1 1	6	3	2 1
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	1 4	5	1	2 1
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	9	8	3	2 1
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	1 1	7	2	2 1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 月 1 回のケアマネージャーのモニタリング報告で本人、家族の意向は共有できている。 前回の自己評価から、個別支援計画を良く見るようになり、個別対応が様々な場面で対応できるようになった。本人の残存機能は生かしたかかわりができている (やり過ぎない介護)。送迎時の家族からの情報は直ぐに当日、リーダーや管理者へ伝え、スムーズな対応に繋げている。 ケアプランを確認する事で個別の把握ができている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の希望は周知していても、他業務が大変なときは係わる事ができない。 本人の意向に即したかかわりが「本当にこれでよいのか…」と言う職員間の振り返りが少ない。 訴えの少ない利用者への「～したい」の把握。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ケアプランから本人、家族の意向は確認できており、できるだけ本人の目標へつなげていく姿勢は持つが、実際の対応に向けてタイムスケジュールが不十分であったり、柔軟な関わりが予定業務のタイムスケジュールを圧迫し、他利用者へ支障が出る時がある。たくさんの利用者を巻き込む (地域住民・ボランティア) 体制を整えていきたいと考える。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 20 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )  
平成 29 年 8 月 28 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、不動、中村み、中塔、吉本、小村、富久、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 2 人	7 人	1 人	2 1 人

**前回の改善計画**  
業務を効率良く実施できるように見直す。日々の対応が大変な利用者ばかりに目がいってしまう傾向にあるため、意思表示の少ない利用者へ個別に関わる時間を設ける。(午後の落ち着いている時間等) ケアプランが変更になるたびにケアマネから介護職員への伝達を行う。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
新規登録の利用者も増加し、個々人の認知症対応もスキルを必要とする場面も増えた。意思表示の少ない利用者へは関わりの中から表情が輝く取組みを見つけ、すばやく情報共有し、かかわりへと具体化できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	4	1 2	5	2 1
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	1 6	1	0	2 1
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	1 5	5	1	2 1
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	1 1 3	3	1	2 1
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	1 8	1	0	2 1

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
お一人おひとりに個別に対応する時間を意図的に設けている。移動等何か違うことをするときには必ず、声をかけてから行うようにしている。自分自身が得た情報は細かく、他職員と共有する事を心がけている。レクリエーションも取り入れて気持ちが落ち着くよう取り組んでいる。

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
いろんなことに拒否がある方への関わりができていない。事業所へ来る前の生活史がわからない。ケアマネとして生活の環境変化などについて他職員への報告ができていないことがある。

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
自らの訴えが少ない利用者への対応を職員は今後も積極的かつ意図的に探っていく。  
アセスメントシート<sup>①</sup>の生活史をもっと詳しく聞き取れる信頼関係の構築を職員一人ひとりが意識する。  
介護技術・認知症状の理解への知識習得(研修実施)を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 20 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )  
平成 29 年 8 月 28 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、不動、中村み、中塔、吉本、小村、富久、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	7人	3人	21人

前回の改善計画	ケアマネージャー、管理者を通じて利用者の住む地域の特性について学ぶ機会を設ける。(職員会議等) 民生委員や地域資源とは何かを知らない職員もいる為、研修機会を設け知識習得を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の状態把握や、事業所が建つ地域の特性については現況把握に努める事が出来た。また、利用者地域の民生委員については少しずつではあるが情報共有できる関係となっている。しかし利用者全ての地域特性を知るまでには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	9	3	21
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	9	8	4	21
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	9	8	4	21
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	6	11	4	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人、家族だけではなく訪問、送迎時には、近隣の方へも積極的に挨拶を交わすようにしている。自分ができないときは、他職員へ助けを求め協力してもらうようにしている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 訪問支援を実施していない方は、自宅での過ごし方がわかりにくい。 本人の地域との関係性や民生委員との関わりは把握しづらい。地域とのかかわりが薄いからこのような事業所サービスを選んでいる事もあるのでは。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 今年度より、できるだけ様々な職員が訪問サービスに係われるように体制を整えてきたが、天候、体調などで思うように進まなかった。 次年度も引き続きシフトなどを調整して利用者の在宅での生活を知る取組みは行うが、情報収集した職員が、他職員へ同じ情報を共有できる取組みも考える。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 20 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )  
平成 29 年 8 月 28 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、不動、中村み、中塔、吉本、小村、富久、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	1 6 人	2 人	1 人	2 1 人

**前回の改善計画**  
 小規模多機能の運営について知識が浅い職員もいる為、研修を行い小規模多機能で対応可能な業務を学び、様々な関わりを持てるよう努める。  
 また、日々のかかわりがミーティングで発言し易い職場風土を作り、地域資源への気づきは職員アンケート等を行い情報収集する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 職員会議では発言し易い雰囲気活発に日常の業務改善等も行いう事ができた。  
 事業所の方針である「豊かな創造力を持って」の通り、日々の業務を利用者にとって何が最善かを情報共有しながら行えたと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	1 4	5	0	2 1
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	1 2	0	0	2 1
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	1 5	1	0	2 1
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	1 6	0	0	2 1

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 お一人おひとりへの対応は柔軟にできている。家族は安心だと思ふ。地域清掃に参加している。  
 2 ヶ月に 1 度、全職員で事業所建物周辺の清掃を実施している。ボランティアの方がたくさん入っている。

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 地域資源の活用が少ない。また、地域資源についてもあまりわからない。  
 利用者の方と地域を繋ぎ、もっと交流できたらと思う。小規模多機能のシステムがいまひとつ理解できていない。

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
 柔軟なかかわりの必要性は職員全体に浸透しつつあるが、まだ事業所内で完結しようとする事が多い。  
 地域の資源がわからないという声も多くあり、地域包括や社会福祉協議会などとの関係性を介護現場で働く職員たちにも構築してもらふ。例えば認知症サポーターへの参加等また、引き続き小規模多機能の勉強会実施

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 20 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )  
平成 29 年 8 月 28 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )

6. 連携・協働

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、不動、中村み、中塔、吉本、小村、富久、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	8人	6人	21人

前回の改善計画  
 その他サービス機関や自治体等の会議は参加した者が情報開示していくよう努める。  
 また、地域住民や子供との交流は「誰もがふらっと立ち寄れる」という雰囲気をかもし出せるよう、建物の装飾や、掲示について職員一同検討していく。  
 地域の方々と関わりあえるイベントを実施したいとの職員からの意見も出ている。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 11月に近隣小学校で実施される「ヤングフェスティバル」への参加をGH、小規模多機能共同で作品作り等に取り組んでおり、地域へ「出向いて行く」という姿勢は職員は理解できている。  
 しかし、他職種や、地域の団体とは管理者、ケアマネ等一部の職種しかかかわることができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等) の他事業所) との会議を行っていますか?	1	3	3	14	21
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	3	5	12	21
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	2	7	11	21
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	2	8	9	21

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 介護セミナー、介護者カフェなど地域の方々との交流の機会があった。  
 事業所前の掲示板を使い、事業所から地域への発信ができた。特に、池尻小学校へ向けて卒業式、入学式等の節目にはお祝いメッセージを掲示板で送り、小学校HPにも掲載されている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 イベント等の報告が他職員へ報告、周知できずにいる。地域のイベント参加がまだ少なく感じる。  
 閉鎖的な雰囲気は未だ払拭できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 今年度は地域のイベントにも参加できた。職員だけが参加するのではなく、作品や、当日のイベント参加などを含んで、たくさんの利用者も「地域の活動」へ参加できたと考える。  
 次年度も引き続き、利用者全体が地域へ参加できるものを探していきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 20 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )  
平成 29 年 8 月 28 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )

7. 運営

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、不動、中村み、中塔、吉本、小村、富久、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	8 人	3 人	21 人

前回の改善計画	閉鎖的な建物構造に感じる事業所イメージを事業所発信のイベントを企画し地域と関わっていく。(もちつき、夏祭り等) 事業所玄関にある「ご意見箱」の再度設置場所を検討し、意見が収集し易い環境を整備する。
前回の改善計画に対する取組み結果	建物前に設置した手作り掲示板では事業所からの情報発信を行えた。手紙や形式的な文書でなく季節に応じた壁面や利用者直筆の暑中見舞い等、尾の図地事業所内の様子が創造できるような取組みを担当職員中心として皆で取り組んだ。近隣住民。小学校生徒など掲示板を楽しみにしている方もあられる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2	7	7	5	21
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	13	4	2	21
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	14	3	3	21
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	8	6	7	21

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
意見や苦情は運営に反映できている。地域の人への挨拶。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
何の事業所であるか地域へはまだ発信できていないのでは。地域との意見交換。  
事業所のあり方についての意見。地域と協働した取組み  
推進会議での内容把握

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

掲示板を活用した「介護への相談窓口」とあるという事業所スタイルは継続してきた。実際、散歩のついでなどに見学、簡単な相談に来られる方もおり、次年度も継続していきたい。  
当事業所が災害時の二次的な福祉避難所である事が地域には周知できていないと考える、次年度は何かの方法で地域へ周知してもらい、「地域の必要拠点・安心拠点」とあるという認識を持っていただきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 20 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )  
平成 29 年 8 月 28 日 ( 18 : 00 ~ 19 : 30 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、不動、中村み、中塔、吉本、小村、富久、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 1 人	6 人	3 人	2 1 人

前回の改善計画
法人全体の取組みでリスクマネジメントについての取組みを進めている。 気づきノート、ヒヤリハットを意識的にピックアップする。業務に追われて見過ごさないようにする。 研修は季節ごとぐらいの頻度で、職員が希望する物を実施して欲しいとの意見もあるため、アンケートを通じて、学びたいことを聞き取り、実施していく予定。
前回の改善計画に対する取組み結果
気づきノート、ヒヤリハットなど定期的に記入が少なくなったりする事があった。業務が多忙であるという意見もあるが、リスクマネジメントの一環として何度も周知していかなければならない点である。 研修については現在聞き取り中である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	1 3	4	2	2 1
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1 1	6	3	2 1
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	6	1 0	2 1
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	1 0	7	4	2 1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議、研修で学ぶ機会がある。気づきノート、ヒヤリハットが活用できている。 職員間の情報共有会議への参加。自身の知識、技術向上に努めている。日々の業務内でのリスク把握	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会への一般職員の参加。資格取得、スキルアップ、気づきノート、ヒヤリハットの活用 再発防止の取組み。気づきノートへの記入が意識的に出来ていない。外部研修への参加ができていない。 ご利用者様への声掛けに配慮が足りないと感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
研修は事業所内の法定研修を中心に行ったが、認知症状への対応方法は事業所あげての課題である。 これから、 <u>認知症状への高度な対応技術は必須</u> と思われる。 <u>外部、内部を問わず認知症状研修を実施し、リスクマネジメントを行っていきたい。</u>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 29 年 7 月 20 日 ( 18 : 00～19 : 30)
	平成 29 年 8 月 28 日 ( 18 : 00～19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー	荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、不動、中村み、中塔、吉本、小村、富久、川上
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	16人	1人	1人	21人

前回の改善計画	適切にプライバシーが守られる配慮がされているか振り返りが必要。 チェックリスト等を用いて職員全体で振り返る機会を設ける事も案として出ている。
前回の改善計画に対する取組み結果	人権・プライバシーは全職員において守っている意識が高い。法令研修に基づき、定期的に自分自身また、事業所としての関わりを再認識する時間をもうけた。 チェックリストは用いていないが、研修時に虐待に値する行為について職員間で周知確認が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	18	3	0	0	21
②	虐待は行われていない	17	4	0	0	21
③	プライバシーが守られている	7	14	0	0	21
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	0	9	10	21
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	13	0	0	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 安全で寄り添う介護。当たり前であるが人権、プライバシーへの配慮。 羞恥心への配慮、身体拘束、虐待は事業所を通して完全にしていない。その時々に応じた個別対応 優しい言葉かけ、福祉会の理念浸透もあり、人権・プライバシーは守る意識が高いと感じる。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 成年後見の活用、理解が不足と感じる。個人情報の管理は管理者が束ねている。駄目とかという言葉の代わりに「もう少し待ってください」などの言葉を選ぶべきだったと思うことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 虐待についての知識、利用者が受ける精神的・身体的リスクは全職員が理解していると思うが、 <u>何故虐待が起きる心理が介護職員に起こってしまうのか</u> と言う視点から、次年度もより認知症の方への関わりの方の指導研修も併せて指導していきたい。 成年後見については、研修するが、やはり難しく、現在、後見制度を利用されていないという事も原因のひとつかと考えている。
---------------	---